

売上・客数半減 それでも黒字を確保 ローソンが進める「深夜の無人営業」実験

財界

ZAikai
a Japanese business biweekly

マイナス金利下の体質改善策
みずほ銀行頭取・
藤原弘治の覚悟

秋季特大号
2019 11/5

◎インタビュー
日本証券業協会会長
鈴木 茂晴
ローランド・ベルガー
日本法人会長
遠藤 功

スナック系フーズのシェア約55%獲得後、業界No.1企業の生き抜く道は
成熟・日本を拠点にどう成長を図るか？
カルビー・伊藤秀二の「ネクスト・カルビー」づくり

本誌主幹
村田 博文



表紙の人
カルビー社長兼CEO
伊藤 秀二
撮影 齊田 勤

令和元年11月5日発行(隔週火曜日) 令和元年10月21日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第67巻第2号

私の好きな場所

クリンデバイス・テクノロジ
代表取締役
大野 里枝
Ono Rie



今、自動車の保有年数は年々長期化し、中古車を求めるお客様も増えています。ただ、その中で皆さん共通の体験として持つておられるのが、カーエアコン周りの不快な「臭い」です。消臭剤や芳香剤が売れているのもそのためですが、臭いの元が残り根本的な解決にはなりません。そして従来は、数十万円というお金をかけて分解して清掃するしか方法はありませんでした。

そこで私は、自分の消費者としての体感から解決方法を模索する中で、特殊な工具を使って自動車のエアコン内部にある熱交換器（エバポレーター）を洗

浄するビジネスに辿り着きました。1〜2時間という短時間、数万円という費用で施工ができるもので、特許も取得しています。

マーケティングを行ったところ、やはり強いニーズがあることがわかりましたし、実際に施工したお客様の満足度も非常に高いものがあります。カビやPM2.5の影響など健康にもかわるものです。

これまでになかったビジネスですから、市場に新たな価値を生む可能性があると考えて取り組んでいます。現在はフランチャイズ展開や大手SSとの提携を進めており、今後、皆さんの身近なサービスになりたいと思っています。

そんな私の好きな場所はボートです。今、多くの週末を家族と一緒にボートで過ごしています。海釣りをしたり、クルージングをしてボートに滞在するという形で、別荘のように使っています。

私は海のない埼玉県で生まれ育ちましたが、子供の頃から両親が休みには海に連れていってかれて、そこで楽しさを知りました。

また、大学時代に港町の米ボストンで過ごし、そこで海とボートが生活、文化の一部になっっていることを体感したことも影響しています。

英米文学を専門に大学院で研究し、今も大学で教鞭をとつていますが、文学と海は密接なつながりがあります。枠にとらわれずに自由に発想することの重要性は文学から学びましたし、今

週末に過ごすボート



週末にボートで過ごす時間は、大野さんにとって貴重なものになっている

の仕事にも生きています。私自身、日々を忙しく過ごす中で癒されたり、クリアに物事を考えることができるかけがえのない場所です。

同時に、バーチャルなものに囲まれて生活している子供にとつて自然と触れ、四季を体感させてあげられる、貴重な教育の場ともなっています。